

1人1人が自立へ向かって、光ろう！

一灯照隅

544人がみんなで光れば、

灯中はさらに輝く！

福井市灯明寺中学校 指導部通信

発行 福井市灯明寺中学校

7月 18日

生徒指導部

令和7年度 第6号

キョウカチユウ ココロエ
休暇中の心得

(大正十一年八月に二宮尋常小学校で

配られたものです)

一、イヨイヨ楽シイ夏休み来タ、悪イコトサヘシナケレバ何ラシテ暮ラシテモヨイ。
二、ウント進ンデ勉強ラシテ見タクナツタ時オサラヒラスルガヨイ。
三、野ニモ、山ニモ、川ニモ、海ニモ其ノ他トコニ行ッテモ、勉強ノ材料ガタクサンアル。ソレ等ニツイテシラベテ見ルノガ本当ノ勉強デアル。

四、手工ノ自由制作ラシタリ、オモチャヲ工夫シテコシラヘタリスルコトハ面白イコトデアル。
五、植物ヲ栽培シタリ、マタ採取シテ、オシ葉ヲコシラヘタリ、動物ヲ飼育シタリスルコトモヨイ作業デアル。

六、旅行ラシタ時ハ其ノ地方ノ産物ヤ絵葉書ナドヲ集メタリスルガヨイ。

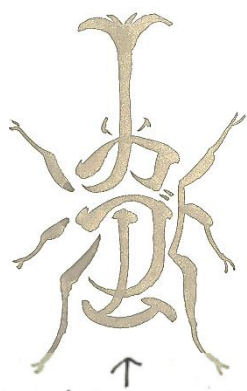
七、種々ノ品物ニツイテ、ソノ制作順序ヲシラベタリ、原料ヲ集メタリ物価表ヲコシラヘタリスルコトモ有益ナコトデアル。

八、休中シラベタコトガラヤ、制作シタモノヤ、集メタモノナドハ、大切ニ残シテ置テ、休後学校ニ開カレル陳列會ニ出品シ合フノハ楽シイコトデアル。

九、登山ラシタリ、水泳ニ行ツタリ、遠足ラシタリシテ、軀ヲキタヘルコトモヨイコトデアル。

十、キメラレタ一ツノオ手伝イヲ元氣ヲ出シテヤリトホサネバナラス。

十一、シテハナナイ悪イコトハ
1 朝寝、夜遊。2 カケゴト遊。3 ムダナ金ツカイ。4 アブナイ遊。(子供バカリデ水泳ニ行クナ) 5 不養生。(不潔、飲食、寝冷え) 6 ケンクワ。(兄弟、友ダチ) 7 スナホデナイ行。(目上ノ人ノイヒツケ)



↑
カ・ブ・ト・ム・シ、?
書いてあるの、わかる?

生徒指導部より

☆いよいよ夏休みです。8月27日(水)の授業再開日まで、39日間あります。皆さんが安心安全に過ごし、全員が27日に元気な顔を見せてくれることを願っています。

☆6月23日(月)に福井県警のスクールサポーターの先生を招いて、ひまわり教室を行いました。ネットによるいじめや犯罪、非行犯罪の危険性を学びました。生徒の感想を紹介します。

私は4月に14才になっているので、犯罪を犯せば取り締まられる立場なので、例え出来心だったり、悪ふざけでも、ネット犯罪を犯さないようにしないといけないと思いました。闇バイトもこれから自分が巻き込まれるかもしれないと、他人事のように考えずにいようと思いました。

今、ディスコードという通話アプリを使って、ネットの友達と通話しているけど、今回教わったことをしっかり頭に入れておきながら、これからのネットの友達との関わりなどを変えていこうと思いました。



改めて、いじめや危ないことはしてはいけないなと思いました。自分がしないのはもちろん、友達にもさせないということが大切だなと思いました。犯罪は人の人生を狂わせる怖いことだと思いました。インターネットの誹謗中傷は、私でも意外と身近なので気を付けていきます。

【保健室より】先月行ったはぴモニの結果を見ると、土日に寝だめをしている人が結構いました。



みなさんは、睡眠負債という言葉を知っていますか？

「負債」とは借金のことです。つまり、睡眠不足が積み重なっている状態を指します。「たかが寝不足」という人は注意が必要です。なぜなら、もともと人間の体は「寝だめ」できるようにはなっていないからです。それなのに、休日になると、いつもより2時間以上長く寝てしまう場合は、自分が思っている以上に体にダメージを受けている恐れがあります。最近の研究では、4日連続でぐっすり眠れば、自分に必要な睡眠時間が分かるそうです。夏休みの間に一度チェックしてみませんか？



【先生のらくがき帳】 上の【休暇中の心得】はいかがでしたか。

大正11年(1922年)ですから、今から100年ほど前のものですが、なかなか味わい深いです。

1・2年生は部活動や習い事、4～7月の復習、海水浴やカブトムシを育ててみる…などなど、【心得】にあるように、どんな活動にも学びがあるので、いろんなことに目標を立てて取り組めるといいですね。

来週に三者懇談が始まる3年生のみんなへ。中学生は、特に3年生は進路の選択の時期…それはわかっているんだけど、進路を選ぶというのは大変なこと。これまで20年以上教員をやってきて、こう聞かれたことがあります。「いろんな道(高校など)があるけど、いったいどれが私にあった道なの?〈自分で選べ〉なんて言われたって…」。

けど、そう言われるのは、先生たちにとっても、とても困ることなのです。なぜなら、そう簡単にはわからない、答えられない問いだからです。…なぜって? その疑問に答えるために、実は先生たちに「進路」についてのアンケートをお願いしました。



「先生たちは自分自身の〈進路〉に関してどう考えていたのか？〈教師になろう〉ということ、いつ決めたのか？」などを聞いてみたのです。なかなか面白い結果が出てきました。このアンケートの結果を報告しながら、「進路を選ぶということ」について考えてみたいと思います。

① 「いつ、〈教師になる〉と決心したか？」

先生たちに聞いた質問のひとつが、「いつ、〈教師になる〉と決心しましたか？」というものです。さあ、いつごろが多いと思いますか？「中学時代」という答えが多いのでしょうか？回答してくれた先生の中で、「中学時代から教師になりたかった」と答えた人は、どのくらいの割合でいるでしょう？

なんと「中学時代に決めた」という先生は5%！それに「小学時代に決めた」という先生が8%いますから、それでも、中学時代には教師になることを決めていた先生は「約1割」ということになります。集計しながら、あらためて「進路を選ぶって大変だな～。そんなにすぐ決まるもんじゃないんだ」と思ってしまうます。

小学	中学	高校	大学	大卒後
8%	5%	16%	65%	6%

②先生たちが、中学時代になりたかった職業は？

では、先生たちが、中学時代になりたかった職業は何でしょう？
これは予想してもらうにも、あまりにさまざまなので、書いてあったものを、並べてみます。
・スポーツ関係 ・プロ演奏家 ・画家 ・医者 ・新聞記者 ・教師 ・サッカー選手 ・プログラマー ・看護師 ・小説家
・ツアーガイド ・宇宙飛行士 ・TVプロデューサー ・作詞家 ・立派なお坊さん ・未来に希望が持てなかったからなし
「教師になる」と決めたのはみんな遅いみたいですが、ばくぜんと「教師になりたい」と思っていた先生は多いようです。
ばくぜんとしていても「夢」を持ちつづけることの大切さを教わったような気になります。
それにしても、こう書いてみると、今のみんなの状況とそんなに変わらないような気がしませんか。みんなと同じであった先生たちだからこそ、みんなが進路を決めていくうえでも、いろいろ自分の経験から役立つアドバイスもできるんだらうと思います。

② なりたい職業はどう変わっていったか？

ところで、先生たちの希望は、先生になるまでどのように変わってきたのでしょうか。「それぞれの時代に何になりたいと思っていたか？」と聞いてみた結果を紹介しましょう。これもさまざまで、一般的な例というのはむずかしいですね。何人かの先生の例を紹介してみましょう。 それぞれの時代での希望

<S 校長先生>

小学校時代……宇宙飛行士

中学校時代……宇宙飛行士

高校時代……宇宙飛行士→教師

大学時代……1年半夜の町へ。人の道からはずれてからの→教師

同級生だった渡辺先生に
「いいかげんにしなさい」と
説教されて…

<ALT のM 先生>

小学……建築家(デザイナー)

中学……漫画家

高校……なし

大学……プログラマー→教師

<B 先生>

小学……白血球・広島カープの選手

中学……医者

高校……医者・中学社会教師

大学……中学社会教師

教師を辞めたら…カフェのマスター

なんか、なかには一見、突然といった感じで「教師」という希望が出てきているのがおもしろいと思います。けど、誰だって「将来の職業＝あこがれ」みたいに思っていたものが、いつか現実と照らし合わせて希望するようになってくるものなのです。そのためにもいろんな可能性を考えながら、その時その時、自分で判断していったほしいと思います。

●おわりに——「自分の進路は自分で決める」ということ

先生方の進路選択を見てみると、「人生のそれぞれの時で、なりたい職業は変わるものだ」と思います。「希望はいろいろあったけど、自分は最終的に教師という職業にたどりついた」という印象をもっている先生はかなりいそうです。「先のことはわからないものだ」と思ってしまう。「あの人は〈これがいい〉って言ってたけど、ボクにはもっと自分にあった道があるんじゃないか？」そう思うのは当然のこと。いや、そういう疑問を持たずに人生を過ごしていくのは、困難ともいえると思います。誰だって、「自分には何が一番あっていんだろう？」と悩んでいるのです。そういうことを考えるのは、立派に生きているように見える大人でも、正直言って、一度は必ず経験があるものだと思います。 そういえば、先生たちにもう1つ質問をしました。

④「く生まれかわったらこの職業につきたい」という職業はありますか？

というもの。これが実にさまざまで、集計していてなんだか楽しくなっていました。出てきた職業を見てみましょうか。
・宇宙飛行士 ・狩人(歌手ではなく) ・本に囲まれて暮らせる職業 ・遺跡の発掘をする考古学者 ・検察官
・もう一度教師を ・海外を飛び回るサラリーマン ・医者 ・ツアーガイド ・絵本作家 ・人をもてなす仕事
大人になっても、みんないろいろな夢を抱きながら暮らしているんですね。なにしろ職業というのは、「一度決めたから変更できない」などというものではないのですから。「転職して教師になった」という先生だって、決して少なくはありません。つまりいたりしながらも、「やりがいのある職業・楽しく仕事ができる職業」というのを、みんなも見つけていってほしいと願っています。
実際、「その学校・その職業が自分にあってるかどうか？」なんて、それに進んで見なければわからないものです。ましてや、他の人には決してわからない。それだからこそ、「そのとき、とりあえずでも自分で決めた」ということが大切だと思うのです。変わる可能性もあるからこそ、他人が決めるのではなく、**自分で決めることが大事**だと思うのです。第一、「他人（それがたとえ両親や先生であっても）が決めた道を歩いていく」というのでは、元気が出ないと思いませんか。
選んだ進路（道）を歩いていくのは自分。誰かが変わってくれるなんてことはないのですから。

いろんな職業に関しての興味・関心というのは一生のもの。そして、今、みんなはその出発点に立っているのです。そう思うと、なんかワクワクしてきませんか？みんなが進路選択について考えることについて、学校中の先生が応援してくれています。頑張れ灯中生！

